

アスパラガス出荷最盛



ＪＡ筑紫アスパラガス部会は、２月１７日から２０２１年産春芽アスパラガスの共同選果をはじめ、出荷の最盛期を迎えています。

全体的に生育は順調。初日の出荷はＬサイズを中心に、太めのものが出荷されました。

部会員数１４名３法人が面積約２．６haを栽培し、目合わせや圃場巡回を定期的に行うなど、部会員一丸となり品質向上に努めています。また、農産物直売所ゆめ畑の店頭で部会員が試食販売を行うなど、販売促進にも力を入れています。

ＪＡの担当者は「多くの消費者にぜひ味わってもらいたいです」と話しました。

家の光三誌・日本農業新聞「ご愛読感謝キャンペーン」抽選会



ＪＡ筑紫は２月１８日、筑紫野市のＪＡ本店で家の光三誌・日本農業新聞「ご愛読感謝キャンペーン」抽選会を開きました。ＪＡの白水組合長やＪＡ女性理事、女性部役員８名が、応募総数１１３５件の中から３５０名の当選者を選びました。

例年２月に「家の光三誌・日本農業新聞購読者の集い」をＪＡと女性部で開いていますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。このキャンペーンは、購読者に日頃の感謝の意を伝えたいと企画しました。

当選人数は、Ａ賞の博多和牛が５名、Ｂ賞の季節の果物セットが５名、Ｃ賞の季節の野菜セットが１５名、Ｄ賞の管内で穫れた「筑紫米」が１５名、Ｅ賞のＪＡの麺セットが５５名、Ｆ賞のＡコープマーク品が５５名、Ｇ賞のＪＡ直売所「ゆめ畑」などで使える商品券が２００名。商品の発送をもって当選者の発表としています。

白水組合長は「今後もこのような活動を続けていきたいです」と話しました。